

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公開番号】特開2014-101282(P2014-101282A)

【公開日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2012-252422(P2012-252422)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/74 (2015.01)

A 6 1 P 1/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/74 A

A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月16日(2015.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラクトバチルス・ガセリCP2305株(FERM BP-11331)、その菌体処理物、或いはそれらの混合物、を有効成分として含有することを特徴とする、被験体のストレス性下痢の抑制剤。

【請求項2】

前記CP2305株が、生菌体又は殺菌体である、請求項1に記載の抑制剤。

【請求項3】

ストレスによる骨盤(副交感)神経活動の抑制を阻害する作用を有する、請求項1又は2に記載の抑制剤。

【請求項4】

大腸クロライドチャネルを抑制することによって水分分泌を抑制する作用を有する、請求項1~3のいずれか1項に記載の抑制剤。

【請求項5】

ラクトバチルス・ガセリCP2305株(FERM BP-11331)、その菌体処理物、或いはそれらの混合物、を有効成分として含有することを特徴とする、腸管での水分過剰分泌抑制剤。

【請求項6】

前記CP2305株が、生菌体又は殺菌体である、請求項5に記載の抑制剤。

【請求項7】

大腸クロライドチャネルを抑制することによって水分分泌を抑制する作用を有する、請求項5又は6に記載の抑制剤。